

令和2年第7回市民福祉委員会会議録

令和2年9月25日

第2委員会室

開 会： 午後1時16分

委 員 長 柘植 孝彦

副委員長 西尾 努

2番委員 近藤 純二、3番委員 安藤 直実、4番委員 堀 誠

委員長 ; それでは、ただいまから、令和2年第7回市民福祉委員会を開会いたします。

本日の会議は、先ほどの本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は別紙の次第書の順序で行いますので、よろしくお願いいたします。それでは、はじめに小坂市長、御挨拶をお願いいたします。

市長 ; 皆様こんにちは。改めまして、昨日、本日の一般質問、大変ありがとうございました。そして、お疲れさまでした。

先ほど、提案説明をさせていただきましたが、今回の補正予算第8号でございますが、僅か半年の間で8回の補正予算ということでございまして、今まで、過去にも私も経験したことがないほどのことでございますが、こうして毎回、皆様方の御協力をいただきまして進められることに、先ずは感謝申し上げたいと思います。

それから、一つだけ御報告申し上げますが、先日、古屋先生が台湾に、李登輝元総統の国葬に行かれましたけども、その時の模様がフェイスブックに出ていました。ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、森元総理が主賓といいますか、国を代表して行かれわけですけども、そこに一緒に写っていたのが、恵那市の高木でございます。台湾現地で活躍しているということで、僕も電話をいただきまして、そんなわけで非常に頑張っていると、こんな話がありました。

それから、ソフトバンクが今日から2,000円で、唾液でのPCR検査をやるということで、会社を立ち上げましたけども、実は会社を立ち上げたその新しい子会社の社長というのが、池田部長という方でして、そのすぐ直下の部下として働いているのが、恵那市からソフトバンクに出向している横田でございます。昨日でしたかね、テレビ電話でミーティングしたんですけども、横田もそして池田部長と、孫会長のもとで、懸命に働いているということで、どちらも、今までの恵那市の職員では、経験の出来

ないところ、もしくは場所で、活躍をしているということを聞きまして、大変に嬉しく思った次第でございます。

そんなところも、少し皆様にも気にとめていただきまして、引き続き、職員を温かい目で見ていただけたらと思います。

それでは、市民福祉委員会どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 ; ありがとうございます。続きまして後藤議長、御挨拶をお願いいたします。

議長 ; それでは、第7回の市民福祉委員会、大変御苦勞さんでございます。

一般質問、本会議に続いての会議でございますので、大変お疲れのことと思いますけれども、先ほど提案説明がございました補正予算の件でございますので、慎重審議をよろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、今、市長が言われたように、恵那市から出向している職員が、そういう活躍をしておるというのはですね、やっぱり、議員は意外と知らんでおるものですから、何かで分かるようにしてもらって、こちら側もしっかりと応援をできるようにしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

委員長 ; ありがとうございます。

それでは議題に入りますが、議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。

なお、発言につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認し、口元にあることを確認してから、マイクに向かって発言するよう、お願ひをいたします。

委員長 ; それでは、「議第94号 令和2年度恵那市一般会計補正予算（第8号）」を議題いたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

はい、3番委員。

3番委員 ; お願いします。ちょっと、あの、順番にいきます。

まず、地域外来・検査センターの設置のところですが、あまり公表ができないということでしたけども、センターについてお尋ねするんですけど、場所は恵那市、中津川市の、両市の中で一つということですよ。そうすると、中間地点ぐらいには出来るというふうに考えているのかということと、ちょっと順番に行きます。

委員長 ; はい、地域医療課長。

地域医療課長；はい。中津川市そして恵那市のそれぞれの市民が行き易い場所に設置したいというふうに思っております。以上でございます。

3 番委員；場所は公表ができないということなので、行き易い場所ということですね。そうすると、そこに常駐するスタッフの方はどういう方になるのか。

委員長；3 番委員、質問は途切ってから言ってもらえますか。

3 番委員；いや、一個一個いったほうがいいかなと思って。

委員長；はい、じゃあ、続けてください。

委員長；はい、地域医療課長。

地域医療課長；はい。恵那医師会が受託をして行うことになっておりますが、恵那市と中津川市の職員が1名ずつ、お手伝いに行く形になっております。

また、臨時職員等も雇いまして、医師会の職員、中津川市の職員、恵那市の職員と一体となって進めていく予定です。

委員長；はい、3 番委員。

3 番委員；県からの補助が2,000万円ということでしたけど、それは委託費ということですか、人件費かなと思うんですけど。

委員長；地域医療課長。

地域医療課長；はい。県からは、委託費という形でお受けいたします。

委員長；3 番委員

3 番委員；そうしますと、市からの負担についてですが、中津川市と恵那市で人口割ということですね。236万円ですが、これは委託費以外の光熱水費と損害賠償保険等ありますが、236万円というのと、光熱水費だけではちょっと大きいかなと思うんですけど、これどういう費用が含まれているかだけ教えてください

委員長；地域医療課長。

地域医療課長；はい。主な経費といたしましては、損害保険で、今回特別にコロナ保険というものが、日本医師会のほうから出されております。

そのコロナ保険ですが、医師が、県、市及び保健所と協力して行うコロナ対策事業に従事した場合に適用されるという保険になっております。以上でございます。

(マイクオフ：3 番委員発言あり)

委員長；3 番委員、マイク入っていません。もう一度お願いします。

3 番委員。

3 番委員；はい、費用の金額、内訳、光熱費が幾らでということをお願いします。

委員長；地域医療課長。

地域医療課長；損害保険のほうは、326 万 1,000 円。それから、万が一医師がコロナに感染した場合の補償といたしまして、200 万円。こちらは、感染しなかった場合には精算により返還されるものです。

それから、事務費につきましては、光熱水費、消耗品等で 74 万 2,000 円の合計 600 万円となっております。それを、4 月 1 日現在の恵那市と中津川市の人口で割りまして、恵那市の分は 236 万 8,000 円となっております。以上でございます。

委員長；はい、3 番委員。

3 番委員；この予算は、令和 2 年度分だけということで、次の年度は改めて、この金額かどうか分かりませんが、必要ならばということと考えていいですか。ずっとじゃないですね。

委員長；地域医療課長。

地域医療課長；今回のみの 3 月 31 日までの予算として計上しております。その後につきましては、コロナの終息の状況を見ながら、決めていくという形になるかと思います。以上でございます。

委員長；ほかにありませんか。

はい、3 番委員。

3 番委員；次の、インフルエンザの予算ですけれども、対応していただいて大変有り難いと思います。

恵那市が早くやってくださったのかどうか、近隣市の動向を教えてもらいたいです。恵那市は高校生ということで、今回、以前の人たちに加えてやったださるということですけど、恵那市だけなのか、近隣市もこのようにやっているのか。

委員長；健幸推進課長。

健幸推進課長；はい。中津川市も同じように高校生に助成を行います。あと東濃 5 市でいいますと、多治見市が同じように高校生の助成を行うというふうに聞いております。以上です。

委員長；3 番委員。

3 番委員；妊婦さんについての助成なんかはどうでしょうか。恵那市は今ないですね。

委員長；はい、健幸推進課長。

健幸推進課長；妊婦さんにつきましては、予定はしておりません。と、いいますのは、把握がなかなか難しいということもありましたし、母子手帳交付の段階での把握ですと、その後どうなっているのかっていうところもありましたので、対象者の選定とか通知が難しいということもありまして、今回は集団生活を送るということもありまして、高校生とさせていただくことにしました。以上です。

委員長 ; 3 番委員。

3 番委員 ; 妊婦さんについても把握が難しいということでしたけど、インフルエンザも出てくることですし、今後の動向なんかもありますけど、そこら辺もちょっと、ぜひ御検討を今後していただきたいなという思いですが、それは要望です。

最後に一つですけど、今までの対象者の方たちもありまして、また、高校生もということで、接種率、もう 100% 本当目指していただきたいと思うんですけど、これまでの方たちにある高齢者とか、内部障がいの人たち、1 歳から中学生、去年の接種率なんか見て、今回どういうふうに乗せていくかっていうことなんですけど。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; はい、今までのところですけども、全国的に見ますと高齢者については、4 割から 7 割というような実績があるそうです。低い所、高い所ありますけれども、恵那市の場合は、65% 以上はずっと確保出来ているような状況です。と、いいますのは、個別通知をしておりますので、高齢者の方も意識してくださっていて、高いほうの率を推移しているという状況ですので、今年度についても、今までぐらいかそれよりも少し高くなるだろうなということは予想しております。

あと、子どもにつきましては、1 歳から中学校 3 年生まで助成しておりますけれども、こちらのほうも、学年によってというか、年齢によって接種率は異なりまして、小さい子のほうがやはり接種率が高いという状況らしいです。平均すると国のほうも 5 割ぐらいというようなことを言っておりまして、恵那市でも 51% ぐらい接種していただいておりますので、ただ、今年はコロナの関係もあって、関心はかなり高くなってきているかなというふうには思っております。以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 9 4 号 令和 2 年度恵那市一般会計補正予算 (第 8 号)」は、原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 9 4 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題を全て終了しました。

最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ありがとうございます。

それではこれをもちまして、令和2年第7回市民福祉委員会を閉会といたします。
お疲れさまでございました。

午後1時29分閉会

恵那市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 市民福祉委員長 柘 植 孝 彦